

2023.06.18

中国の将来

(2049年、35年は来るか)

2023.06.30 政経懇話会(川島真先生に質問)

中国の現在の3%成長は長続きせずに、少子高齢化の段階へ入る
5G、自動化、無人化、AI化が重要
(それは、日本、韓国、台湾も同じ、アジアの主要国は高齢化)

中国の行政、経済システムの現状と将来
民主化、民営化ではなく、国有化方式、現状は変化しない

中国は世界の対立のどちら側になるか
先進国 対 それ以外
中国は先進国に入らずそれ以外の超大国を目指す

台湾統一、台湾有事の可能性
それは少ない、無い、あっても中国の一部の問題
台湾は中国の一地方レベルにしかすぎない

台湾はウクライナではないし、ウクライナは中国に関係ない
中国はロシアではない、全く別の陣営

2035年は習近平の引退後2年、2049年は死後か
(2032年習近平引退、2035年、2049年は解らない)

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 中国の将来

日付: 2023/07/02 15:10:16

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

習近平氏は、2035年までに中国を世界一の経済大国に、2049年までに中国を世界をリードする強国にすることを目指しています。

これは、中国が長年抱いてきた「中華民族の偉大な復興」の夢を実現するための目標です。

習近平政権は、経済成長、軍事力強化、国際的な影響力拡大など、様々な分野で積極的な政策を推進しています。

その結果、中国は近年、急速に成長し、世界経済に大きな影響力を持つようになっていきます。

しかし、中国の将来は不確実です。

中国経済は、高齢化や環境問題などの課題に直面しています。

また、中国の軍事力は米国にはまだ及ばず、

国際社会からの懸念も高まっています。

習近平氏は、中国の将来を安定させ、2035年、2049年の目標を達成するために、様々な課題に立ち向かう必要があります。

中国共産党総書記の習近平氏は、

2021年の共産党大会で、

2035年までに「中等程度の現代化国家」を建設し、

2049年までに「社会主義現代化強国」を建設する

という目標を掲げました。

これらの目標は、中国が経済、軍事、技術の面で

世界をリードする国になることを目指しています。

習近平氏の目標は、中国がこれまでに達成したものとは大きく異なるものです。

中国は、過去40年間で急速な経済成長を遂げ、世界第2位の経済大国になりました。
しかし、中国はまだ先進国ではありません。
中国の一人当たりGDPは、米国の約1/4です。
また、中国の軍事力は、米国に追いついていません。

習近平氏の目標を達成するためには、
中国は多くの課題を克服する必要があります。
中国は、経済成長を継続し、一人当たりGDPを
向上させなければなりません。
また、中国は、軍事力を強化し、米国に対抗できる力
をつけなければなりません。
さらに、中国は、民主化の要求に応え、
国民の不満を解消する必要があります。

中国の習近平国家主席は、
2035年までに中国を「社会主義現代化強国」に、
そして2049年までに中国共産党の建国100周年まで
に「現代化国家」にすることを目標としています。

2035年までの目標には、次のようなものがあります。

- 国民一人当たりのGDPを米国の半分まで引き上げる
- 科学技術分野で世界をリードする
- 環境を保護し、持続可能な発展を達成する

2049年までの目標には、次のようなものがあります。

- 中国を世界一の経済大国にする
- 軍事力を世界一に引き上げる

- 国際社会で主導的な役割を果たす

習近平政権は、これらの目標を達成するために、経済成長を促進し、軍事力を強化し、国際社会での影響力を拡大することに重点を置いています。しかし、これらの目標を達成するためには、中国が直面する課題は少なくありません。

経済面では、中国は少子高齢化や環境問題などの課題に直面しています。また、軍事面では、米国の軍事力に圧倒されています。国際社会では、中国の台頭に対する懸念が広がりつつあります。

習近平政権がこれらの課題を克服し、2035年、2049年までに目標を達成できるかどうかは、中国の将来を左右する重要なポイントです。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 習近平の支持基盤

日付: 2023/06/30 5:40:44

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

- 習近平の支持基盤

習近平の支持基盤は、以下のようなものです。

- 軍部
- 共産党の党员
- 官僚
- 中間層
- 愛国主義者

習近平は、軍部出身であり、軍部の支持を得ています。

また、共産党の党员は、習近平の強力なリーダーシップを支持しています。

官僚は、習近平の経済政策によって、自分の利益が守られると期待し、習近平を支持しています。

中間層は、習近平の経済政策によって、自分の生活が向上すると期待し、

習近平を支持しています。

愛国主義者は、習近平の強硬な外交政策を支持しています。

習近平の支持基盤は、以下のようなものです。

- 軍部
- 共産党の党员
- 中間層
- 民族主義者

習近平は、軍部出身であり、軍部の支持を得ています。

また、共産党の党员は、習近平の指導者としての資質を高く評価し、

習近平を支持しています。

中間層は、習近平の経済政策によって、生活水準が向上していると評価し、

習近平を支持しています。民族主義者は、習近平の強硬な対外政策を支持しています。

習近平の支持基盤は、以下のようなものです。

- 軍部
- 官僚
- 大企業
- 都市部中間層
- 民族主義者

習近平は、軍部の出身であり、軍部の支持を得ています。

また、官僚は、習近平の強力なリーダーシップと安定した経済成長を評価し、

習近平を支持しています。

大企業は、習近平の市場経済政策を支持し、習近平を支持しています。

都市部中間層は、習近平の経済成長政策によって、

生活水準が向上していることを評価し、習近平を支持しています。

民族主義者は、習近平の強硬な対外政策を支持し、習近平を支持しています。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 鄧小平の支持基盤

日付: 2023/06/30 5:14:05

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

鄧小平の支持基盤

鄧小平の支持基盤は、以下のようなものでした。

- 軍部
- 地方の幹部
- 知識人
- 改革派

鄧小平は、軍部出身であり、軍部の支持を得ていました。

また、地方の幹部は、鄧小平の改革政策を支持し、鄧小平を支えました。

知識人は、鄧小平の改革政策によって、経済成長を実現できると期待し、

鄧小平を支持しました。改革派は、鄧小平の改革政策によって、

中国をより良い国にすることができると期待し、鄧小平を支持しました。

これらの支持基盤のおかげで、鄧小平は、中国の最高指導者として、改革開放政策を推進することができました。

鄧小平の支持基盤は、以下のようなものでした。

- 党内の改革派
- 軍部
- 農民
- 民間企業家

鄧小平は、1978年に改革開放政策を開始し、中国の経済成長を牽引しました。

この政策は、党内の改革派から支持されました。

また、鄧小平は、軍部とのつながりを深め、軍部の支持を得ました。

さらに、鄧小平は、農民への支援を強化し、農民の支持を得ました。

最後に、鄧小平は、民間企業家を育成することで、民間企業家からの支持を得ました。

中国の鄧小平の支持基盤は、以下のようなものでした。

- 中国共産党内の改革派
- 紅軍時代の戦友
- 軍部
- 民間企業家

鄧小平は、中国共産党内の改革派の支持を得ていました。

改革派は、毛沢東時代の左翼路線に反対し、経済改革を主張していました。

鄧小平は、改革派の支持を得て、1978年に復権を果たしました。

鄧小平は、紅軍時代の戦友からも支持されていました。

紅軍時代、鄧小平は、毛沢東の右腕として活躍しました。

紅軍時代の戦友は、鄧小平の能力と人柄を信頼していました。

鄧小平は、軍部からも支持されていました。

軍部は、鄧小平の経済改革方針に賛同していました。

経済改革は、軍の予算を増やすことにつながると期待されていました。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 毛沢東の支持基盤

日付: 2023/06/30 5:47:55

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

毛沢東の支持基盤

毛沢東の支持基盤は、以下のようなものでした。

- 農民
- 軍人
- 若者

毛沢東は、農民の出身であり、農民の支持を得ていました。

また、軍人は、毛沢東の革命思想に共感し、毛沢東を支持しました。

若者は、毛沢東の改革政策に期待し、毛沢東を支持しました。

これらの支持基盤のおかげで、毛沢東は、中国の最高指導者として、大規模な社会主義革命を推進することができました。

毛沢東の支持基盤は、以下のようなものでした。

- 農民
- 労働者
- 軍人
- 共産党員

毛沢東は、農民、労働者、軍人、共産党員など、
下層階級の支持を得ていました。

これらの人々は、毛沢東が、中国の社会主義革命を成功させ、
彼らの生活を改善することができると信じていました。

毛沢東は、これらの支持基盤のおかげで、中国の最高指導者として、
大躍進や文化大革命などの社会主義革命を推進することができました。

毛沢東の支持基盤は、以下のようなものでした。

- 農民
- 労働者
- 軍隊
- 共産党の党員

毛沢東は、農民と労働者の支持を得ていました。

また、軍隊は、毛沢東の指導者としての資質を高く評価し、
い毛沢東を支持していました。

共産党の党員は、毛沢東の革命の理想を共有し、毛沢東を支持していま
した。

これらの支持基盤のおかげで、毛沢東は、中国の最高指導者として、大
規模な社会主義革命を成功させることができました。



第589回

沖縄政経懇話会 21 2023年6月定例会

2023年6月29日(木)
12:00-14:00
ロワジュールホテル那覇(天妃の間)

記

講師 ^{かわしま しん}川島 真 氏(東京大学大学院総合文化研究科教授)

演題 「日中関係と台湾問題の行方」

講師略歴 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。北海道大学法学部助教授、東京大学大学院総合文化研究科准教授を経て、2015年から現職。この間、中央研究院近代史研究所(台北)、北京日本学研究中心、北京大学、ウッドロー・ウィルソン・センターなどで在外研究、教育に従事。中国・台湾の政治外交史、国際関係史を専門としている。現在、中曽根平和研究所研究本部長、国家安全保障局シニアフェロー、日本学術会議連携会員、外務省外交記録公開推進委員会委員など多くの公職を務めている。

「中国近代外交の形成」(名古屋大学出版会)でサントリー学芸賞を受賞。著書に「21世紀の『中華』—習近平中国と東アジア」(中央公論新社)、「中国のフロンティア—揺れ動く境界から考える」(岩波書店)など多数。

会員変更のお知らせ

会員変更○沖縄振興開発金融公庫 理事 ^{あらかき なおゆき}新垣 尚之 氏(2023年4月代表者変更)

○株式会社 琉球リース 代表取締役社長 ^{なかがわ みちお}中川 通男 氏(2023年6月代表者変更)

次回の定例会

日時 2023年7月27日(木) 正午～午後2時

会場 ザ・ナハテラス(アダンの間)

講師 ^{さいとう しげる}齊藤 樹 氏(こども食堂兼学習支援「げんきカレー」代表)

演題 「地域で子供たちの成長を支える取り組み
～げんきかれーみらいチケットの挑戦～」

事務局(沖縄タイムス社内)
e-mail:seikon@okinawatimes.co.jp

TEL 860-3542

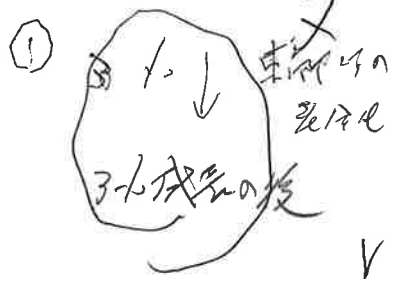
FAX 860-3597

担当:濱元・慶佐次

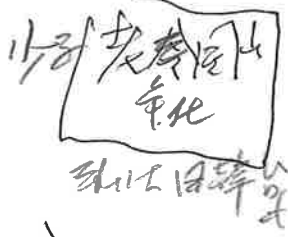
沖縄タイムス社



① 強いつら → 弱いつら
 行政 → 民間 (權力分散)
 行政 → 民間 (民間管理)



② 權力集中 脅威、危機 / 国家の安全 / 経済的
 国家の安全 權力集中

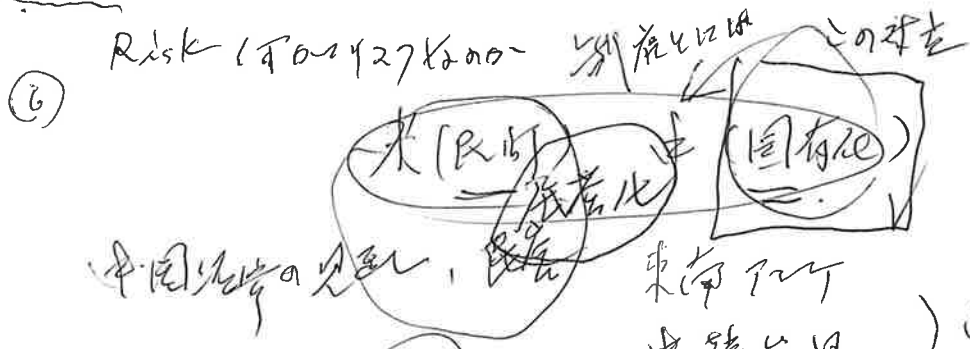


(1) 反黨運動
 (2) 兩江先遣団の秩序 (2本柱)
 「公平」 → 公平社会
 公平社会の状況

③ 社会の権威性に対する体系的
 党の民主化の停止

④ 軍制の特長、軍制改革 (陸 → 善の軍)

① 制度
 ② 制度
 世界経済の状況



① 3大改革

② 高成長 最大の時代
 人口問題



1. 変動の原因

2009年以後の投資の拡大

巨額の投資調達のための空前の金融緩和

4兆元の投資に比べて

GDP (40兆)の1/10

その後の ~~1100兆元~~ の投資 (GDPの3倍)

更に ~~1000兆元~~ (1,000兆元)



2. 投資ブーム

過剰投資

企業財務の悪化



バブルが弾けた後は、投資は減る

投資は減る。

2013.9 藤上氏

1)-マンショフ
(2008.9.15)

株価暴落

金融不安 (収縮)

消費減退

日本は戦後初めのマイナス成長

主要7ヶ国 (G7) の

中国、インド 2ヶ国 (G20) への交代の契機

原因 (サブプライムローン、低所得者向け住宅ローンの証券化

(住宅バブル崩壊)

負債総額 6.130兆円

G20は 2010年まで 総額 5兆ドルの金融緩和

中国经济は当然の如く不導軌のトンネルから

抜けられない

故、抜け出後も、中長期的な難題が待っている

↓

資金の時代は終った

中国の将来

(2049年、35年は来るか)

2023.06.29

1. 中国の現在の3%成長は長続きせずに、少子高齢化の段階へ入る
5G、自動化、無人化、AI化が重要
(それは、日本、韓国、台湾も同じ)
2. 中国の行政、経済システムの現状と将来
民主化、民営化ではなく、国有化方式の継続
3. 世界の対立のどちら側か
先進国 対 それ以外
中国は先進国に入らずそれ以外の超大国を目指す
4. 台湾統一、台湾有事の可能性
それは少ない、無い、台湾は中国の一地方レベル
5. 台湾はウクライナではないし、中国はロシアではない
中国とロシアは別の勢力
(2032年習近平引退、2035年、2049年は解らない)